

和歌山県データ利活用推進プランの概要

令和3年4月策定
令和8年4月改定

和歌山県

「日本のデータ利活用拠点」を目指して

策定の趣旨・基本的な考え方

○策定の趣旨

これまでの取組を継承しつつ、データの分析研究結果の情報発信や政策立案への活用、データを利活用した企業支援やデータ利活用人材の育成等をさらに推進し、データ利活用に関する社会の大きな変化にも対応できるよう、新たな「和歌山県データ利活用推進プラン」を策定

○期間

令和3年度から令和8年度までの6年間
(令和8年4月の改定で期間を1年度延長)

○推進体制

庁内のEBPM推進体制、データ利活用に関する専門家との人的交流、協定に基づく連携体制を最大限に生かし、産学官の連携を強化

【基本目標】

- (1) 日本のデータ利活用拠点の構築
- (2) 統計的思考・エビデンスに基づく行政の推進
- (3) データ利活用による県内産業の活性化
- (4) データを利活用した健康寿命の延伸と健康経営の推進
- (5) 県民の統計リテラシー向上

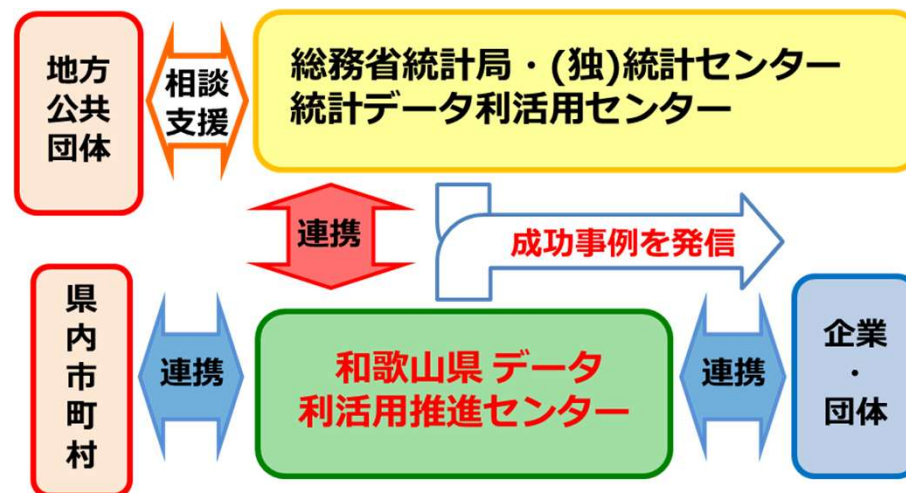


総務省統計局・(独)統計センターとの連携

日本のデータ利活用拠点をめざし、統計データ利活用センターとともに、産学官におけるデータ利活用を推進



成功事例を本県から発信し、日本全国の地方創生に貢献



「和歌山県データ利活用推進プラン」の主な取組

1 日本のデータ利活用拠点の構築

(1) 分析・研究拠点	官民の多様なデータによる先進的な分析・研究を推進し、分析結果や分析手法等を積極的に提供
(2) 情報発信拠点	データ利活用の重要性・有用性を発信するためのシンポジウム、セミナー等を開催
(3) 人材育成拠点	高等教育機関との連携やデータ利活用コンペティション等を開催し、データサイエンス人材を育成
(4) 連携・支援拠点	統計マイクロデータを活用した共同研究や人材育成を行い、国の先進的なデータ利活用の取組を支援

2 統計的思考・エビデンスに基づく行政の推進

(1) 県保有データのオープン化推進	容易にデータ利活用できる環境を整備
(2) 官民データの連携	行政のデータと民間企業のデータの融合やキーワード検索ツール、人流データ等の活用
(3) 自治体職員への研修	自治体職員を対象としたEBPM推進研修を実施及び支援

3 データ利活用による県内産業の活性化

(1) データを利活用した企業支援	各業種のデータ分析により、効果的な支援を提案、企業向けデータサイエンスセミナーを開催、企業間のデータ融合を促進
(2) データサイエンス人材が集う企業の創出	統計マイクロデータや衛星データ等のデータ利活用環境の良さ、ワーケーション等の働き方に関する先進的な取組を生かし、データサイエンス人材が集う企業を創出

4 データを利活用した健康寿命の延伸と健康経営の推進

「健康長寿日本ーわかやま」の実現を目指して、データ分析に基づく健康寿命の延伸と健康経営を推進
--

5 県民の統計リテラシー向上

(1) 統計思想の普及・啓発	和歌山県統計大会や出前授業等を開催するとともに、総務省統計局が実施する「キッズ向け統計イベント」に協力し、全国のこどもたちの統計リテラシーの向上にも貢献
(2) 統計教育の推進	統計教育に関する教員向け研修を実施し、統計教育を充実、統計的な問題解決能力を身につけた未来のデータサイエンス人材を育成
(3) 大学等との連携	社会で求められる高度なデータ分析力を持った人材を大学等と連携して育成

1 日本のデータ利活用拠点の構築

和歌山県データ利活用推進センターを中心に、統計データ利活用センターと連携して、日本のデータ利活用に関する4つの拠点となるべく、活動を推進

(1) 分析・研究拠点

官民の多様なデータによる先進的な分析・研究を推進し、分析結果や分析手法等を積極的に提供



(3) 人材育成拠点

高等教育機関との連携やデータ利活用コンペティション等を開催し、データサイエンス人材を育成



第3回和歌山県データ利活用
コンペティション
(令和元年11月)

(2) 情報発信拠点

データ利活用の重要性・有用性を発信するためのシンポジウム、セミナー等を開催



開設1周年記念シンポジウム
(令和元年7月)

(4) 連携・支援拠点

統計マイクロデータを活用した共同研究や人材育成を行い、国の先進的なデータ利活用の取組を支援

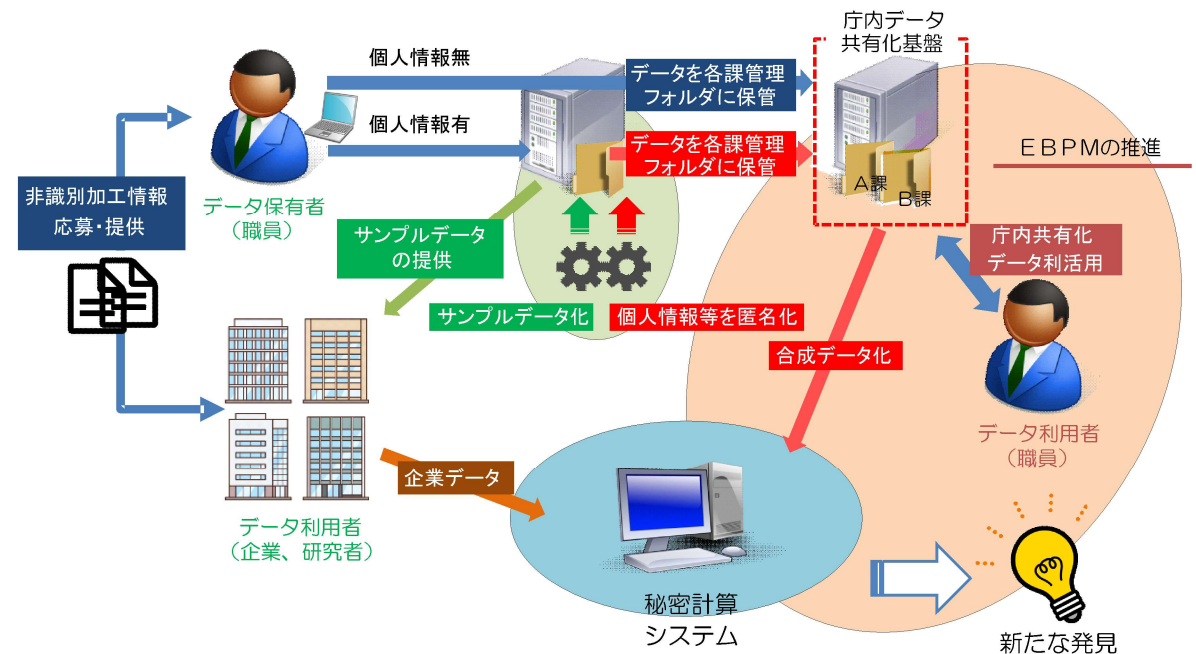


2 統計的思考・エビデンスに基づく行政の推進

公的統計をはじめとする様々なデータを活用して、統計的思考・エビデンスに基づく行政（EBPM）を推進するとともに、他の自治体とも連携して取組をより一層推進

(1) 県保有データのオープン化の推進

ニーズの高いデータを匿名化し、個人情報保護に努めつつ、容易にデータ利活用できる環境を整備



(2) 官民データの連携

行政のデータと民間企業のデータの融合やキーワード検索ツール、人流データ等の活用による新たな企業支援

(3) 自治体職員への研修

自治体職員を対象としたEBPM推進研修を実施及び支援



統計データ利活用研修会（令和元年12月）

3 データ利活用による県内産業の活性化

様々なデータの融合がはかれるよう、企業を支援し、企業間連携を促進するとともに、データを積極的に利活用して、新産業の創出や誘致等をはかり、県内産業を活性化

(1) データを利活用した企業支援

各業種のデータ分析により、効果的な支援を提案、企業向けデータサイエンスセミナーを開催、企業間のデータ融合を促進



(2) データサイエンス人材が集う企業の創出

統計マイクロデータや衛星データ等のデータ利活用環境の良さ、ワーケーション等の働き方に関する先進的な取組を生かし、データサイエンス人材が集う企業を創出



オンサイト施設における
統計マイクロデータの利用



日本初の民間小型ロケット発射場の建設により、期待される衛星データ等の利活用



『いつもどおり』の仕事をしながら『いつもと違う』場所で『いつもと違う』経験や体験をすることができるワーケーション

4 データを活用した健康寿命の延伸と健康経営の推進

「健康長寿日本一わかやま」の実現を目指して、データ分析に基づく健康寿命の延伸と健康経営を推進

○データ収集・分析

健康寿命延伸に係る行動要因や環境要因等に関する詳細分析

- ・地域比較
(健康長寿上位県と和歌山県)
- ・未来推計
(年齢・要介護率)
- ・産業との相関
(健康経営企業・ヘルスケア産業)



みんな実践！健康づくり運動ポイント事業

エビデンスに基づく
政策立案・実施

- 健康寿命の延伸
- 健康経営の推進



・健康長寿日本一
わかやまの実現



健康わかやま県民運動ロゴマーク

5 県民の統計リテラシー向上

県民に対する統計思想の普及・啓発や教育現場での質の高い統計教育の提供、社会で求められる高度なデータ分析力を育てる大学との連携により、統計リテラシーの向上を推進

(1) 統計思想の普及・啓発

和歌山県統計大会や出前授業等を開催するとともに、総務省統計局が実施する「キッズ向け統計イベント」に協力し、全国の子供達の統計リテラシーの向上にも貢献



統計データ活用冊子「統計のおはなし」

(2) 統計教育の推進

統計教育に関する教員向け研修を実施し、統計教育を充実、統計的な問題解決能力を身につけた未来のデータサイエンス人材を育成



データ活用特別講義
(平成30年8月)

(3) 大学等との連携

社会で求められる高度なデータ分析力を持った人材を大学等と連携し、育成



滋賀大学との連携協定
(令和元年11月)